

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	中村 みえ子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

地域の健康に関連する必要な情報を収集し、地域や集団における顕在的・潜在的な健康課題を明確にし、その解決の方向性を見出す地域診断の一連の過程を実践する。また、健康教育や健康相談等の接近方法を用いて健康課題等を解決するための保健活動計画（事業計画）を立案する。

【到達目標】

1. 地域の健康に関する情報を収集し、健康問題や健康課題を明確にできる。
2. 健康問題や健康課題を解決するため、地域診断の一連の過程を実践できる。
3. 健康課題を解決するための保健活動計画（事業計画）を立案できる。

【授業計画・内容】

第1回	授業の概要について・統計情報の分析の仕方	第11回	事業計画の立案
第2回	データヘルス計画	第12回	事業計画の立案
第3回	ライフステージ別地域診断の枠組み	第13回	地域診断発表媒体の作成
第4回	情報の収集	第14回	地域診断発表の作成
第5回	情報の収集	第15回	地域診断の発表・まとめ
第6回	情報の収集		
第7回	情報の整理・分析		
第8回	情報の整理・分析（不足情報の整理）		
第9回	健康問題・課題の明確化		
第10回	健康問題・課題の明確化		

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」「保健統計学」で学んだ内容が基礎となるため、講義前に復習する。

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護活動展開論Ⅰ」「保健統計学」「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」等々

【教科書等】

公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版 インターメディカル 2019.

国民衛生の動向 2020/2021年版 一般財団法人 厚生労働統計協会

【参考文献】

地域看護アセスメントガイド 医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】

筆記試験 80%、地域診断書・事業計画書・演習への取組等 20%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

町役場で保健師として、住民の生涯を通じた健康づくり支援や、多様な住民・地域組織団体との協働による健康なまちづくり業務等の地域保健活動を経験した。

日常の地域保健活動の方向付けとなり地域の健康課題の発見（地域診断）から課題解決までを、PDCAサイクルのもとで、関係機関や住民と共に推進することの必要性を、在職中に事例を織り交ぜながら授業を進めたいと思う。

【学生へのメッセージ】

地域診断はグループで行います。1人ひとりが役割を持ち、グループ学習の効果を意識しながら積極的に取り組みましょう。